

第2回「女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等の 環境整備・利用のあり方に関する協議会」議事概要

日時：平成29年1月20日（金）15：00～17：00

場所：合同庁舎2号館地下1階 国土交通省第2会議室A・B

- 議事：（1）これまでの議論の経緯について
（2）仲構成員からの情報提供について
（3）アンケート結果について
（4）とりまとめ骨子案について
（5）意見交換

冒頭、長井安心生活政策課長の挨拶の後、本協議会の座長をお願いしている大森宣暁氏（宇都宮大学地域デザイン科学部教授）から挨拶いただいた。大森座長の進行のもと議事が進められ、事務局からの資料説明、委員からの情報提供それぞれについて質疑応答・意見交換を行った。

〈これまでの議論の経緯について（資料1）の質疑応答〉

協議会設置に至った経緯と、協議会（1回開催）、WG（2回開催）での議論や意見交換、アンケート調査の実施について説明。

- 質問等は特になし。

〈仲構成員説明資料（資料2・非公表）についての質疑応答〉

ショッピングセンターを対象として実施したアンケート調査の結果を説明。ベビー休憩室の設置状況や設置階、面積、備品、見回り等の調査結果を説明。

- 「見回り」について、調査をしたショッピングセンターでは充実してきたと伺ったが、この見回りとはただ見回りをしているだけなのか、それとも不審な方に声かけまでするのか、教えていただきたい。
- 見回りについては、不審な方に声かけをするというものではなく、例えば何時間おきに見回りを行っているなど、定期的に見回りを行っているかどうかの結果である。
- アンケート調査の対象について、子育て世代の女性がよく利用するのはもっと身近なところだと思う。
- 全てを対象とすると膨大な事例数となるので本アンケートでは対象を絞ったが、今後

対象を広げての追加調査を実施したいと考えている。

- ベビー休憩室の設置階について、1階が3割ある一方で、3～5階が半数を超えている。上の階まで行かないとベビー休憩室がない施設が多いということなので、この結果を取りまとめにうまく反映していただきたい。
- 参考にさせていただく。

〈トイレに関するアンケート調査結果（資料3-1）についての質疑応答〉

「日常でよく利用するトイレに関するアンケート調査結果」として、外出時に商業施設や駅等のトイレを利用する頻度や利用する際に重視すること、利用する際に不便・不満・不安を感じる場所等について、男女別の調査結果を説明。

- 男性目線で作られてきたトイレに女性目線の意見を取り入れることが重要だと思う。男女の結果を比較できるように示してほしい。

<事務局>

- ご意見を踏まえて見せ方を工夫していきたい。

- 和式のトイレを10%程度が好んで使っていることから、全くなくしてはいけなさと感じた。また、結果の中で温水機能付きのトイレを女性はあまり重要視しておらず、むしろ男性のほうが重要視しているということも読み取れるので、こういった細かな部分の比較も必要ではないか。

<事務局>

- 男女別の比較とも併せて、整理していく。

- 調査対象者の年齢構成や居住地等を教えていただきたい。

<事務局>

- 国交省のインターネットモニターを活用し、全国を7つのブロックに分けて各ブロックから世代と性別を抽出している。20代43名、30代159名、40代275名、50代220名、60代140名、70代以上で47名であった。属性の詳細はアンケートをまとめる際に再度提示する。

- 女性がトイレで授乳・調乳をしているというのは、意見として何うことはあるが、数値で示されたことは貴重である。男性でもごく少数だがトイレで授乳という回答になっているが通常考えにくいので、データのチェックをお願いしたい。

<事務局>

○ ご意見を踏まえながら、整理をしていく。

- 身体の不自由な方かどうかは判別できるか。身体の不自由な方がどのようなことを不便に感じているかが結果として見えると有用と感じた。

<事務局>

○ 今回のアンケートの視点ではないため、把握できていない。

〈授乳・調乳、おむつ替えスペースに関するアンケート調査結果（資料3-2）についての質疑応答〉

「子ども連れで外出する際の授乳または調乳スペース、おむつ替えスペースの利用等に関するアンケート調査結果」として、外出時に商業施設や駅等の授乳または調乳スペース、おむつ替えスペースを利用する頻度や利用する際に重視すること、利用する際に不便・不満・不安を感じる場所等について、調査結果を説明。

- 「授乳または調乳スペース」という括りでアンケートを行っているが、回答者の育て方によって受け取り方がまちまちになり、例えば専ら子どもを母乳で育てるいわゆる「直母（じかぼ）」の方が最も困っていることが結果として見えてこない。同じようなことがおむつ替えスペースとトイレのおむつ替え台の設問でも見受けられるので、アンケート結果は丁寧に見ていく必要がある。

- アンケート調査の中では直母かどうかの設問はないか。

<事務局>

○ 設問はない。

- 直母の方は授乳スペースをイメージして、ミルクで育てている方は調乳スペースをイメージして回答しており、育て方によってイメージしているものが違うと思う。

- すでに調査は実施済なので、できる範囲での分析をお願いしたい。

- 今は男性も育児をする社会に変わってきているので、男性が不便に感じていることを見せるとよいのではないか。

<事務局>

○ 男性の結果も分析を実施したい。

〈取りまとめ骨子案（資料4、参考資料2・3）についての質疑応答・意見交換〉

これまでの協議会やワーキングでの議論や意見交換、アンケート調査の結果を踏まえて、

とりまとめ骨子案の変更点を中心に説明。

- 骨子案において「快適トイレ」の原則化と記載されているが、現状は建設現場における男女別トイレの設置に取り組んでいる段階であることを含み置きいただきたい。

<事務局>

- ここに記載しているのは、国交省が実施している施策の名称である。取組の方向性として記載することはせず、施策を紹介するに留めている。具体の表記等についてはご意見をいただければと思う。

- 「授乳または調乳スペース」の表現については、検討していただきたい。できれば分けて記載するのが望ましいと思う。また、専ら母乳で子どもを育てている母親が最も困っている状況なので、速やかに解消していただけたらと思う。男性の育児参加も大事だが、男性の意見を取り入れて、女性が育児をしにくくなってしまっては本末転倒である。

<事務局>

- ご指摘の内容が正しく伝わるよう文言等を工夫したい。

<長谷川構成員提供資料について説明>

粉ミルクには死滅しない菌が含まれており、液体になったときに活性化してしまうことがあるため、調乳する際には70度以上という適切な温度でなければならないということを示した資料。

- 必要な調乳設備の基準として、国土交通省の文章の中に入れていただくと影響が大きく、認識が広まると考えている。
- トイレ等の設計にあたり、男性の動線をどう制御し、どう共存していくかが難しいところであるが、様々な事情により男性が調乳せざるを得ない状況もあるので、共存することが前提ではないかと考えている。
- トイレを衛生的な環境にするのはマストであり、その上でウォシュレットはベターである。その考えからすると、落ち着いて母乳を与えられることはマストであり、生き物として産んだら母乳で育てるのは生理的には当然なので、母乳で育てられる環境は基本的人権として保障されるべきものだと思う。日本では、妊娠・出産でいろいろな差別を受けるマタニティハラスメントが問題となっているが、母乳で育てられないとしたらこれもハラスメントである。これをバックアップするような法律が日本にはまだないが、母乳で育てることを保障した上で、男性との共存を考えるべきである。
- 母乳で育てることを保障することが一番大事であることは理解したが、そこをうまく

共存させていくことが、まず先だと考えるようにしたい。

- トイレの項目の中には、コラム的な扱いで「【参考】国交省所管分野で働く女性にとってのトイレに関する施策」があるので、授乳または調乳スペースやおむつ替えスペースの項目でも、千代田区や八王子市の事例を紹介していただきたい。

骨子案 4 ページに「授乳または調乳スペース内の出入り口付近に大きな荷物やベビーカーを置く場所を確保する」と記載があるが、ベビーカーごと入りたいという意見が多い。エビデンス（根拠）等があれば示していただきたい。

- 授乳または調乳スペース、おむつ替えスペースについても政府・自治体の取組を示したほうがよい。

<事務局>

- この骨子案では、アンケート結果等をもとに取組の方向性を追記しているが、ご指摘のとおり反対の意見もあるかと思うので記載にあたっては、内容を精査して整理した。また、好事例については、できる限り記載するように努力する。

- 事業者の立場だと、優先順位をつけて一定の範囲内では全面的に協力するなどを伝えていきたいので、そのような記載を報告書に盛り込むことはできないか。たとえば、「10万人以上の駅にはホームドアを設置する」といったような基準があると良い。

<事務局>

- 授乳または調乳、おむつ替えスペースについては、スペースの確保が問題となることもあり、「作る場合には」ということを明記できないかという意見を頂いていた。骨子案の状態では表記できなかったが、最終的な取りまとめのときには反映させたい。

- 一番不衛生だと感じているのは市役所や区役所のトイレである。駅や商業施設のトイレはどんどんきれいになっているが、利用者の多い施設で古いままのトイレになっていることが多いのは気になる場所である。

また、参考資料2の中で、「ベビーカー利用者は多機能トイレへ誘導している」とあるが、多機能トイレはたくさんあるわけではなく、ベビーカー利用者が入ると長い時間を過ごし、障害を持った方が利用できなくなることが気になっている。ベビーカーを持って入れるような広い個室をぜひ取り入れていただきたい。

- 公園トイレについては、女性はほとんど利用がなく、男性も用足しレベルでの利用にとどまっている。公共施設として24時間無人で維持管理しなければならない、サービス水準との兼ね合いでそのような状況になっているのではないかと思う。トイレに求められるものは、コストをかけたところがきれい・使いやすいに値し、ひとえに公園のような公共

トイレがそこまでの役割を担うのだろうかという疑問がある。一方、千代田区では東京オリンピック・パラリンピック開催の国内外からの多くの来訪者対応として、民間施設等、街の中にあるきれいな使いやすいトイレをうまく活用できないか調査等も行っている。広く公共的に利用されるトイレについて、情報提供を行うなどしてトイレのニーズを満たしていきたい。

<事務局>

- 必ずしもとりまじめに従ってやらなければいけないというわけではない前提だが、それぞれの事情に応じて「女性が輝く社会づくり」に向けて、できる範囲で取り入れていただければと思う。

以上